

CO₂排出量の予想

日本原燃株式会社



- 第一約束期間における国際約束の達成は困難
 - ◇ リーマンショックの影響による経済停滞で一時的に減少していたCO₂排出量は、2010年度に再び上昇傾向
 - ◇ 東日本大震災は2011年度の景気に大きな影響を与えたが、原子力の停止、代替火力の運転でCO₂排出量は更に増加
 - ◇ これから迎える最後の1年度(2012年度)だけで、目標(1990年比6%減)の達成はあり得ない
- 第一約束期間の未達量は、リセットされずに第二約束期間以降へ引き継がれる
- 脱原子力政策(40年運転制限+リプレイス無し)や、核燃料サイクル政策を変更して原子力発電量が減れば、今後のCO₂排出量は激増
 - ◇ 火力で代替すれば 〇〇億トン
 - ◇ 発電単価の激増を無視して出来る限り再生可能エネルギーを利用()しても、〇〇億トンの増加
- 2030年25%減少の公約は全く達成不可能

21

原子力政策の変更によるCO₂影響

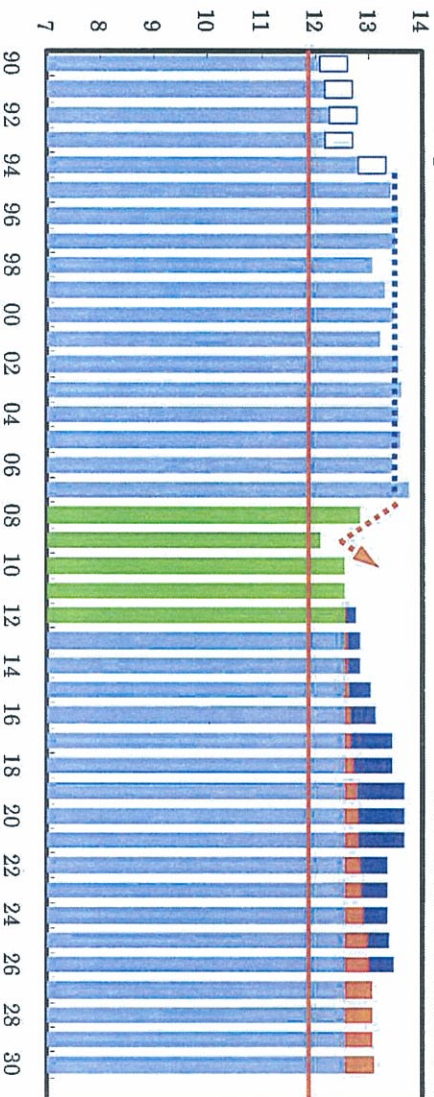
日本原燃株式会社



- 40年運転制限+リプレイス無しを火力で代替
 - ◇ 2012~2030年度のCO₂排出量増加は、累計 5.1 億tCO₂
- 更に、ワンススルーへの変更による原子力停止を火力で代替
 - ◇ 向こう15年間のCO₂排出量増加は、累計 7.8 億tCO₂
- 両方の影響は、併せて 12.9 億tCO₂
 - ◇ 平均して、毎年、基準年の 6%超の増加

(億トンCO₂換算)

(注) リーマンショックによる近年の一時的な減少は、既に2010年度に回復基調



22